

新城市民病院公立病院改革プラン（案）（2022年度から2025年度）パブリックコメント実施結果

件数	提出されたご意見	意見に対する市の考え
1	<p>次のような意見を述べ、現行の「公立病院の経営形態」を維持していただきたくパブリック・コメントします。</p> <p>2005年10月の平成大合併以来、北部医療圏はご承知のように人口減少が止まらず「消滅都市」から脱却できていません。にもかかわらず基幹病院である新城市民病院は、関係者一同のご努力により、市民が「市民の安全安心に生きる」役割の一端をよく守っていると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に医療需要にこたえ得る医師を始め体制が不足しているにも拘わらず、民間医療機関を育て（連携）ながら奮闘していることは、公立病院経営の優れた姿を内外に示しているものと思われまます。 ・コロナ危機でコア分野の大切さが鮮明になりました。 <p>特に過疎の街での人口減少は、更に厳しいものがあります。当然それに見合う医療圏構想ならば良しとしますが、この構想の基本は、結局は地方公共団体の自己責任に負わすような役割になっているように思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の東栄病院は、それを物語ります。 <p>10年あまり前、新城市民病院も同じく「危機」になりました。東栄病院は、それに対応できずに一部民営化を導入して再生を図ったが、結局昨年2021年公立病院廃止そして透析診療、入院できなくなり診療所化となってしまいました。</p> <p>北部医療圏構想では、東栄町を守れなかったのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことは、過疎化し、さらに人口減少を続ける自治体のところに「民営化路線」を強化することは不合理だということが明らかになったと思います。 <p>このとき、当市民病院は、「公立経営」を守り抜きました。そして現在があると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの課題としては、人口を増やすまちづくりを基本に据えながら、例えば入院患者が6割も他の医療機関に流出している現状に注目して、一層魅力ある病院経営を行ってほしいことだと思います。 ・市民としては、消滅都市から早く脱却するために「人口減少を防ぐあらゆる施策」に協力してゆくことが大事だと考えます。 ・当医療圏内の基幹病院として、救急そしてお産医療の復活は僻地、過疎の街づくりには、大事な役割だと考えて居るものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P63に記載があるとおり、経営形態については、公設公営を基本とします。 ・東三河北部医療圏においては、重篤な救急患者の救急医療や周産期医療における南部医療圏との連携が課題と示され、当院としては、不足している医療機能を補うため、地域医療連携室を充実し、これまで以上に東三河南部医療圏との円滑な連携体制の強化に努めてまいります。 ・P51に記載があるとおり、関連医科大学及び愛知県等への医師派遣要請をさらに強化する等、医師招聘に努め、救急医療体制を中心的に担っている総合診療科医師の招聘を推進し、救急患者受け入れ範囲の拡充を図ってまいります。 ・貴重な意見として承ります。
2	<p>新城市民病院は、どんなことがあっても民営化には絶対にしないでください。</p> <p>公設公営の新城市民病院が守られてこそ、市民の命を守る安全、安心の生活がたもたれていくと考えるからです。</p> <p>そして、地域の開業医とも連携していくことが大切だと考えます。</p> <p>（そうすることによってさらに町も栄えます。）</p> <p>そのためには、予算をとって命をかけて、新城市民病院へ医師を来てもらうように全力をあげてほしいです。</p> <p>東三河北部医療圏の関係者始め、市長村長さん始め力を合せて、県の大村知事や国に、市民の声を上げて実現出来るようお願いいたします。</p> <p>今、東栄町民はこまっています。</p> <p>人工透析も出来なくなり、入院も出来なくなり、これでは生きて行けません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P63に記載があるとおり、経営形態については、公設公営を基本とします。 ・P51に記載があるとおり、関連医科大学及び愛知県等への医師派遣要請をさらに強化する等、医師招聘に努めてまいります。 ・貴重な意見として承ります。